

○赤磐市工事検査事務処理要領

平成17年3月7日

告示第98号

(趣旨)

第1条 この告示は、赤磐市工事検査規程（平成17年赤磐市訓令第35号。以下「検査規程」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(工事完成届)

第2条 請負者は、工事が完成したときは速やかに次の書類を添えて赤磐市建設工事執行規則（平成17年赤磐市規則第204号。以下「工事執行規則」という。）第27条に規定する完成届（様式第9号）を当該工事を担当する課（以下「工事担当課」という。）に提出しなければならない。

- (1) 工事写真
- (2) 完成写真
- (3) 出来形管理図表
- (4) 成果表
- (5) 前各号に掲げるもののほか、試験、材料等関係書類

(しゅん功検査日の決定)

第3条 工事担当課は、工事完成届が提出されたときは受理した日から14日以内に検査を行うよう日程を決定する。

(しゅん功検査の通知)

第4条 しゅん功検査の日程を決定したときは、工事担当課は請負者にあらかじめその日時を通知するものとする。

(しゅん功検査の実施)

第5条 しゅん功検査は、関係職員及び請負者立会いの上、契約書、設計図書、仕様書及び検査基準により実施する。

(しゅん功検査済証の交付及びしゅん功検査の復命)

第6条 工事担当課の課長又は市長が命じた職員（以下「検査員」という。）は、しゅん功検査が終了したときは工事しゅん功検査復命書（様式第1号）により市長に復命するとともに、工事しゅん功検査済証（様式第2号）を請負者に交付しなければならない。

(修補)

第7条 しゅん功検査で合格しなかった工事については、検査員は検査規程第7条の規定により請負者に修補を命じ、修補工事検査復命書（様式第3号）により市長に復命しなければならない。

2 修補工事が完了したときは、請負者は速やかに工事執行規則第28条に規定する工事修補完了届（様式第10号）を工事担当課に提出しなければならない。

3 第1項の規定にかかわらず、軽微な修補については指示表（様式第4号）により修補事項を指示することができる。軽微な修補の結果については関係職員が確認し、検査指示事項措置報告書（様式第5号）により検査員に報告する。

（請負代金の支払）

第8条 請負者は、請負代金を請求するときは請負代金請求書及び工事しゅん功検査済証を工事担当課に提出しなければならない。

2 工事担当課は、前項の請求書を受理した日から起算して40日以内に請負代金を支払うよう事務処理をしなければならない。

3 修補工事の代金を請求するときは、請負者は第1項の書類のほかに工事執行規則第28条に規定する工事修補完了届（様式第10号）及び請書（様式第6号）を添付しなければならない。

（しゅん功に必要な書類）

第9条 しゅん功を証するために必要な書類は、次に定める書類とする。

（1） 請負代金請求関係

ア 工事執行規則第27条に基づく工事完成届（様式第9号）

イ 工事しゅん功検査済証（様式第2号）

ウ 工事執行規則第36条に基づく請負代金請求書（様式第13号）

エ 工事完了確認書（様式第7号）（負担金補助及び交付金事業の場合）

（2） 復命関係

ア 工事しゅん功検査復命書（様式第1号）

イ 指示事項措置報告書（様式第5号）

ウ 工事成績評定表（様式第8号）

エ 工事写真

オ 検査成果表

カ 検査写真

キ しゅん功写真

ク 工事完了確認書（様式第7号）

ただし、負担金補助及び交付金事業の場合は、ア、イ、ウ、エ、オ、カは省略できるものとする。

（材料検査）

第10条 材料検査は、請負人の口頭又は文書による検査要求により検査員又は監督員が行う。

（中間検査の申請）

第11条 請負者は、中間検査を申請するときは各工種の出来形を示す写真及び数量についての資料を工事担当課に提出するものとする。

(中間検査の通知)

第12条 中間検査の日程が決定したときは、工事担当課は請負者に対しあらかじめその日時を通知するものとする。

(中間検査の実施)

第13条 中間検査は、関係吏員及び請負者立会の上、契約書、工事出来形調書(様式第9号)、仕様書及び検査基準により出来形の内容を実地に検査確認する。

(中間検査済証の交付及び中間検査の復命)

第14条 中間検査が終了したときは、検査員は工事中間検査済証(様式第10号)を請負者に交付するとともに、工事中間検査復命書(様式第11号)により市長に復命しなければならない。

(部分払金の支払)

第15条 請負者は、部分払金を請求するときは工事中間検査済証(様式第10号)及び工事執行規則第35条に基づく部分払金請求書(様式第12号)を工事担当課に提出しなければならない。

2 工事担当課は、前項の請求書を受領した日から起算して14日以内に出来形部分に対する請負代金相当額の90パーセント以内の部分払金を支払うよう事務処理をしなければならない。

(負担金補助及び交付金事業の取扱い)

第16条 行政区の代表から工事執行規則第27条に規定する工事完成届(様式第9号)が提出されたときは、検査員は14日以内に確認を行い、工事完了確認書(様式第7号)により市長に復命しなければならない。

附 則

この告示は、平成17年3月7日から施行する。

附 則(平成19年3月30日告示第28号)

この告示は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月23日告示第25号)

この告示は、平成21年4月1日から施行し、同日以降に実施される工事のしゅん功検査から適用する。

附 則(平成23年4月28日告示第41号)

この告示は、公表の日から施行し、改正後の赤磐市工事検査事務処理要領の規定は、平成23年4月1日から適用する。

附 則(平成25年5月7日告示第63号)

この告示は、公表の日から施行する。

附 則（令和7年10月1日告示第112号）

この告示は、公表の日から施行する。

様式第1号(第6条、第9条関係)

市 長	副市長	会計管理者	部 長 支所長	主管課長	副 参 事 主 幹	班 長	班	合議

工事しゅん功検査復命書

契 約 番 号		工事所属年度	
名 称			
履 行 場 所			
路 線 河 川 名 又 は 事 業 名			
請 負 業 者			
契 約 締 結 日		工 事 監 督 員 名	
着 手 日			
履 行 期 限			
完 成 届 年 月 日			
検 査 日		現 場 代 理 人 氏 名	
設 計 金 額 (税 抜) (A)		主 任 技 術 者 氏 名	
設 計 出 来 高 金 額 (税 抜) (B)		担 当 課 立 会 人 名	
出 来 高 比 率 (B) / (A) = (C)		請 負 者 立 会 人 名	
請 負 金 額 (税 込) (D)		そ の 他 立 会 人 名	
請負出来高金額(税込) (D) × (C)		施 工 内 訳	別紙のとおり(しゅん功検査のうち必要なもの)
工 事 成 績 区 分			

上記の工事は、しゅん功検査したところ、しゅん功しているので復命します。

年 月 日

赤磐市長 様

検査員職氏名 印

検 査 内 容 調 書	
事 項	内 容
1 工 事	(1)測 距
	(2)形寸検査
	(3)掘削検査
	(4)注水検査
	(5)コンクリート強度検査
(6)	
2 結 果	

様式第2号(第6条、第9条関係)

工事しゅん功検査済証	
工 事 所 属 年 度	年度
事 業 名	
工 事 名	工事
位 置	赤磐市 地内
請 負 金 額	円
請 負 者	
契 約 年 月 日	年 月 日
着 手 年 月 日	年 月 日
しゅん功予定年月日	年 月 日
検 査 年 月 日	年 月 日
上記の工事は、 年 月 日しゅん功届出により実地検査したところ、しゅん功していることを証明する。 年 月 日 検査員職氏名 印	
この検査証は、赤磐市工事検査規程第9条に準じた正当な検査証であることを証明する。 赤磐市長	

様式第3号(第7条関係)

市 長	副市長	会 計 管理者	部 長 支所長	主管課長	副参事 主 幹	班 長	班	合 議
修補工事検査復命書								
工 事 所 属 年 度		年度						
工 事 名		工事						
位 置		赤磐市 地内						
請 負 金 額		円						
請 負 者								
契 約 年 月 日		年 月 日						
着 手 年 月 日		年 月 日						
しゅん功予定年月日		年 月 日						
検 査 年 月 日		年 月 日						
検 査 立 会 者 氏 名								
監 督 員 氏 名								
手 直 し 事 項								
手直し指定期日		年 月 日						
上記について、しゅん功検査したところ、一部修補の必要がありますので、上記のとおり命じましたから復命します。 年 月 日 赤磐市長 様 検査員職氏名 								

様式第4号(第7条関係)

指 示 表

年 月 日

請負人		受領者	㊞
年災別 番 号		監督員	
工事名			
指示事項	〔 中 間 しゅん功 の別を記入のこと 手 直 〕		

様式第5号(第7条、第9条関係)

工事 中 しゅん 功 間 検査指示事項措置報告書	
1 工事所属年度	2 工 事 番 号
3 工 事 名	4 位 置
5 請 負 者	6 請 負 金 額
7 検 査 年 月 日	8 検 査 員
指 示 事 項	事 後 措 置
上記指示事項について、事後措置したので報告します。 年 月 日 検査員 様 職員 ⑩	

(注) 事後措置について写真を必要とする場合は別添のこと。

様式第6号(第8条関係)

請		書	
		収入印紙	
1 工 事 名			
2 工事場所	赤磐市	地内	
3 工事概要			
4 工 期	着手	年	月 日
	完成	年	月 日
5 請負金額			
上記工事について、年 月 日発注者			
と請負者		とは、契約締結済でありますが同契約書第31条第2	
項の規定により		年 月 日しゅん功検査を受けたところ、次のとおり修	
補の御指摘を受けましたが		年 月 日までに修補を完了することを確認	
約致します。			
修補事項			
		年 月 日	
赤磐市長 様			
		請負者 住所	
		氏名	
		印	

様式第7号(第9条、第16条関係)

市 長	副市長	会 計 管理者	部 長 支所長	主管課長	副参事 主 幹	班 長	班	合 議
工 事 完 了 確 認 書								
工 事 所 属 年 度		年度						
工 事 名		工事						
位 置		赤磐市 地内						
事 業 主 体								
請 負 者								
補 助 対 象 額		円						
補 助 金		円						
契 約 年 月 日		年 月 日						
契 約 工 期		年 月 日～ 年 月 日						
着 手 年 月 日		年 月 日						
完 了 年 月 日		年 月 日						
検 査 立 会 者 氏 名								
工 事 内 容								
検 査 内 容								
特 記 事 項								
上記工事について、しゅん功していることを確認したので復命します。 年 月 日 赤磐市長 様 検査員職氏名 ㊟								

様式第8号(第9条関係)

工 事 成 績 評 定 表
完成(完了) 検査回次 第 回

名 称					契約番号		課 名	
履 行 場 所					請負者名			
契 約 金 額			工 期	着工	完成	検査日		
評 定 者 及び検査員		①	②	③	④			
		印	印	印	印			
項 目	細 別							
1 施工体制	I 施工者の能力							
	II 配置技術者							
2 施工状況	I 地元との渉外関係							
	II 施工管理							
	III 現場管理							
	IV 仮設備							
3 出来形及び品質	I 出来形・品質							
	II 出来ばえ							
4 工程進捗状況	I 工程							
評 定 点								
5 評定点計	① ×0.3 + ② ×0.1 + ④ ×0.6 = 点					6 検査成績点合計	工事成績区分	
所 見								
しゅん功検査立会者	担当課立会人			請負者立会人				

注1 一次評定員①の評定点=(1・I+1・II)×0.4+(2・I+2・II)×0.2+(2・III+2・IV)×0.1+(3・I+3・II)×0.2+(4・I)×0.1

注2 二次評定員②の評定点=(2・I+2・II)×0.3+(2・III+2・IV)×0.3+(3・I+3・II)×0.3+(4・I)×0.1

注3 検査員④の評定点 =(2・I+2・II)×0.1+(2・III+2・IV)×0.2+(3・I+3・II)×0.6+(4・I)×0.1

様式第9号(第13条関係)

年度 工事出来形調書

表紙は工事施行伺を代用し、次の事項を記入すること。

- ア 工事 起工 変更 設計書を工事出来形調書と訂正する。
- イ 工事番号、課所名、位置、路線河川名、工種は、それぞれ記入すること。
- ウ 工事費欄には、出来形価格を記入すること。

工 事 内 訳 書

出来形設計額	円	
設計金額	円	
出来形価格	円	$\frac{\text{請負金額} \times \text{出来形設計額}}{\text{設計金額}}$
出来形に対する 部分払相当額	円	$\text{出来形価格} \times \frac{90}{100}$
請 負 金 額	円	
前 払 金 額	円	
部分払相当額	円	$\text{出来形に対する部} \frac{\text{分 払 相 当 額}}{\text{分 払 相 当 額}} \times \frac{\text{出来形に対する部分払相当額}}{\text{請 負 金 額}}$
今回部分払金額	円	
備 考		
1 工事出来形数量は、進捗率(%)によって積算すること。		
2 名称その他を訂正した場合は、検査員の訂正印とする。		

様式第10号(第14条、第15条関係)

工 事 中 間 検 査 済 証	
工 事 所 属 年 度	年度
工 事 名	工事
位 置	赤磐市 地内
請 負 金 額	円
請 負 者	
出 来 形 価 格	
契 約 年 月 日	年 月 日
しゅん功予定年月日	年 月 日
上記工事の一部の完成届出により、実地検査したところ、上記出来形価格の工事が終了していたことを証明する。 年 月 日 検査員職氏名 ㊟	

(注) 裏面へ計算書を添付のこと。

1) 年度途中の部分払

部 分 払 計 算 表

合計(出来形工事価格)	円	
工 事 価 格	円	
請 負 工 事 価 格	円	
出 来 形 工 事 価 格	円	
出来形請負工事価格	円	$\frac{\text{出来形工事価格} \times \text{請負工事価格}}{\text{工事価格}}$
出来形に対する部分払 相当額(消費税抜き)	円	$\text{出来形請負工事価格} \times \frac{90}{100}$
出来形に対する部分払 相当額に係る消費税額	円	$\text{出来形に対する部分払} \times \frac{3}{100}$ 相当額(消費税抜き)
出来形に対する部分払 相 当 額	円	
請 負 代 金 額	円	
前 払 金 額	円	
部 分 払 相 当 額	円	$\text{出来形に対する} - \text{前払金額}$ 部分払相当額 $\times \frac{\text{出来形に対する部分払相当額}}{\text{※ 請負代金額}}$
今 回 部 分 払 金 額	円	

※ 2年以上にわたる工事については、請負代金額を当該年度の支払限度額と読み替える。

- 2) 年度末の部分払(一部繰越・一部債務)
(中間払いをしていない場合)

部 分 払 計 算 表

合計(出来形工事価格)	円	
工 事 価 格	円	
請 負 工 事 価 格		
出 来 形 工 事 価 格	円	
出来形請負工事価格	円	$\frac{\text{出来形工事価格} \times \text{請負工事価格}}{\text{工事価格}}$
出来形に対する部分払 相当額(消費税抜き)	円	$\text{出来形請負工事価格} \times \frac{90}{100}$
出来形に対する部分払 相当額に係る消費税額	円	$\text{出来形に対する部分払} \times \frac{3}{100}$ 相当額(消費税抜き)
出来形に対する部分払 相 当 額	円	
請 負 代 金 額	円	
前 払 金 額	円	
部 分 払 相 当 額	円	$\text{出来形に対する} - \text{前払金額}$ 部分払相当額
今 回 部 分 払 金 額	円	$\text{当該年度支払限度額} - \text{前払金額}$

3) 年度末の部分払(一部繰越・一部債務)
(中間払いをしている場合)

部 分 払 計 算 表

合計(出来形工事価格)	円	
工 事 価 格	円	
請 負 工 事 価 格		
出 来 形 工 事 価 格	円	
出来形請負工事価格	円	$\frac{\text{出来形工事価格} \times \text{請負工事価格}}{\text{工事価格}}$
出来形に対する部分払 相当額(消費税抜き)	円	$\text{出来形請負工事価格} \times \frac{90}{100}$
出来形に対する部分払 相当額に係る消費税額	円	$\text{出来形に対する部分払} \times \frac{3}{100}$ 相当額(消費税抜き)
出来形に対する部分払 相 当 額	円	
請 負 代 金 額	円	
前 払 金 額	円	
部 分 払 相 当 額	円	$\text{出来形に対する部分払相当額} - \{ \text{前払金額} - (\text{前払金額} \times \frac{\text{当該年度の前回までの出来形部分払相当額}}{\text{※請負代金額}}) \}$
今 回 部 分 払 金 額	円	$\text{当該年度の支払限度額} - \text{前払金額} - \text{当該年度の前回までの部分払金額}$

※ 2年以上にわたる工事については、請負代金額を当該年度の支払限度額と読み替える。

様式第11号(第14条関係)

市 長	副市長	会 計 管理者	部 長 支所長	主管課長	副参事 主 幹	班 長	班	合 議
工事中間検査復命書								
工 事 所 属 年 度		年度						
工 事 名		工事						
位 置		赤磐市 地内						
請 負 者				契約年月日		年 月 日		
設 計 金 額		円		着手年月日		年 月 日		
請 負 金 額		円		しゅん功 予定年月日		年 月 日		
出 来 形 設 計 額		円		内訳別紙のとおり				
出 来 形 価 額		円		$\frac{\text{請負金額} \times \text{出来形設計額}}{\text{設計金額}}$				
出来形に対する 部 分 払 相 当 額		円						
前 払 金 額		円						
部 分 払 相 当 額		円						
		$\text{出来形に対する} - \text{前払} \times \frac{\text{出来形に対する部分払相当額}}{\text{部分払相当額} \quad \text{金額} \quad \text{請 負 金 額}}$						
今 回 部 分 払 額		円						
上記の工事について 年 月 日実地に検査したところ、出来形に相違ないことを確認したので復命します。 年 月 日 赤磐市長 様 検査員職氏名 ㊟								

様式第1号（第6条、第9条関係）

様式第2号（第6条、第9条関係）

様式第3号（第7条関係）

様式第4号（第7条関係）

様式第5号（第7条、第9条関係）

様式第6号（第8条関係）

様式第7号（第9条、第16条関係）

様式第8号（第9条関係）

様式第9号（第13条関係）

様式第10号（第14条、第15条関係）

様式第11号（第14条関係）